

—— お 知 ら せ ——

①新社屋を建設します!

新社屋建設に伴い、事務所はテナントへ移転します。電話番号は変わりません。
所在地は、後日改めてご連絡します。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。

令和3年7月31日～
新潟県赤十字会館
貸館業務停止

令和3年10月～
解体・改築工事
※事務所はテナントに
移転します

令和5年1月～(予定)
新社屋完成
(令和5年度中に会館貸出
業務再開予定)

②日赤新潟県支部のホームページが リニューアルします!



令和3年4月1日から、新潟県支部のホームページが下記のアドレスになります。

<https://www.jrc.or.jp/chapter/niigata/>

新潟県支部の活動や奉仕団、ボランティアの活動情報を随時更新中です!
県支部のフェイスブックやユーチューブも更新しているので、ぜひご覧ください!

③「赤十字奉仕団基礎研修」開催募集

奉仕団の総会などで実施できる「基礎研修」のプログラムを作りました。
基礎研修の内容は、奉仕団の基礎知識と健康生活支援講習です。
健康生活支援講習は、いつまでも住み慣れた地域で生活していくために大切な
健康の維持や住民間の支えあいについて学ぶことができます。チラシも作成
しましたので、研修を開催してみたい方は新潟県支部までお問い合わせください!

お問い合わせ

日本赤十字社新潟県支部 事業推進課

新潟市中央区関屋下川原町1-3-12

TEL:025-231-3121 FAX:025-2313122

メールアドレス:jrc@niigata.jrc.or.jp

取材先大募集!



赤十字奉仕団情報誌

令和3年3月発行



がんば!!

—第28号—



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、防災訓練の参加や施設の訪問など、多くの奉仕活動を制限せざるを得ない状況が続きました。そんな中でもマスクの作製・寄贈などニーズに応じた新たな活動もありました。今回は、前号から新たにキャッチした活動をご紹介します!

地域奉仕団・特殊奉仕団

小学校の防災学習に協力

9月に行われた「はくさん防災の日」(上越市立美守小学校)に、上越市赤十字奉仕団三和分団、新潟県災害救援機構赤十字奉仕団が参加しました。

この防災学習に奉仕団は、ハイゼックスによる炊き出し、救護車両の見学と試乗に協力しました。

他には消防署から、煙霧体験、消火器とAEDの取扱いについて説明がありました。

参加した三和分団長は、「上級生が下級生に教えるので、手伝いすぎないように注意了。毎年参加することで、児童の成長の様子が分かり、やりがいを感じる」と感想をいただきました。



赤十字奉仕団と一緒に、児童たちがハイゼックスを使って炊き出しをしました

他奉仕団や青少年赤十字とコラボレーションした活動は、地域のニーズに広く応えやすくなるだけでなく、奉仕団内の活動意欲向上にもつながるはずです。

新しい活動のアイデアがあるけれど、どうしたらよいかわからない!という方は、ぜひ新潟県支部までご相談ください。

地域奉仕団

地域の避難所にトイレを寄付

新潟市中央区赤十字奉仕団第7分団は、平成31年3月に、
ゆいばと（新潟市芸術創造村・国際青少年センター）の体育館に
分団活動費を活用して災害時に活用できるトイレを寄付しました。

寄付した内容は、災害時避難所用仮設トイレ5式

（段ボールトイレ5基、ビニール囲い5基、臭い消し凝固剤120人分）です。

今回の寄付のきっかけは、災害時に本当に困るものはトイレではないかと、女性から声が上がったからだそうです。今後も、地域の人口構成の変化や感染症の状況を踏まえ、他団体と連携・協力した活動を行っていくとのことでした。2021年3月は、東日本大震災から10年目の年です。



地域が主体的に活動できるよう、支部は支援していきたいです。



奉仕団の活動報告

特殊奉仕団(安全奉仕団)

毎月の研修とガウンの作製

新潟県赤十字安全奉仕団新潟市分団では、定期的に、分団員の
技術の向上や団員同士の交流のための研修を行っています。

令和2年度は感染症流行のため、研修を中止にすることも

ありましたが、開催する場合は密にならないよう工夫をして

行いました。また、感染症流行初期、新潟県支部は災害時の

救護班用感染防護具を入手するのが困難だったため、ポリ袋を使ったガウンの作製を新潟市分団



ガウン作製の様子

に依頼しました。救急法の講習指導員をする分団員の中には、
感染症による研修の中止により、知識を広められないことに
もどかしさを感じる方もいらっしゃったそうです。今回の
お話しを聞き、活動が困難な状況下でも、技術の維持向上に
努めている様子が伝わってきました。



密を避けた講習指導

青年奉仕団

献血をテーマとした合同研修会

令和2年11月に、県青年赤十字奉仕団連絡協議会の

研修がありました。内容は、団員企画のアイスブレイク、

支部職員と血液センター職員の講義、今後の献血

ボランティア活動についてグループ討論をおこなうという

ものでした。連絡協議会は、約2か月に一度、オンラインで開催されています。今年度、一堂に会するのは

この日が初めてでしたが、活発に話し合っている様子でした。グループ討論では、若い世代に献血を広めるための活動として、学祭でのPRやSNSへの動画掲載などのアイデアが出ました。参加者からは、今後



オンラインの様子

も献血者増加のためのボランティア活動を考えたい、グループで話し
合った活動を、実際に自分の所属する学校でしてみたいといった感想
がありました。（今回は、3つの学校にある奉仕団から計11名の学生が
参加しました。）



特殊奉仕団(アマチュア無線奉仕団)

長岡市総合防災訓練

令和2年10月に開催された防災訓練に、

長岡アマチュア無線赤十字奉仕団の団員6名が参加しました。

訓練の内容は、国内にある無線赤十字奉仕団との通信、

市内避難所の被災状況・必要物資情報伝達、近隣無線局との

通信などでした。この訓練は、県内外の無線奉仕団だけでなく



自治体や地域の防災組織と交流する機会となっています。

委員長の小林さんは、「趣味のアマチュア無線の良さを

伝え、いざというときにも社会貢献できるようにするため、

今後も地道に訓練に取り組んでいきたい」とおっしゃって

いました。県支部でも、いざというときのための訓練を、

今後も大切にしていきたいと感じました。

